



## ☆ 1学期終了いよいよ夏休み・・・1学期間ありがとうございました！

1年生は71日間、2～6年生は72日間の1学期を無事に終えることができます。これも、保護者・地域の皆様の日頃のご支援のおかげと感謝申し上げます。

子どもたちには、夏休みに事件や事故にあうことなく、充実した時間を過ごしてほしいと思います。

1学期の始業式では「頭と心を鍛えよう」の話をしました。終業式では、朝の登校ボランティアさんより、「庄内小の子は優しいですね。先日、体調がすぐれない低学年の子を高学年の子がおんぶして、周りの子は荷物をもってあげていました。」と伺った話を紹介しました。また、「どの子も、さらに伸び伸びと自分の良さを発揮していけるように成長してほしいと先生たちは願っている」ことを伝えました。

また、「**日頃できないことに挑戦する夏 自分で決めたことは守る夏 頭と心を鍛える夏**にしよう」と伝えました。そのためには、「気分が乗らない時は、まず10秒だけ始めてみると、やっているうちに楽しくなって続けられるものだ。」と伝えましたので、ご家庭でもお話して頂けると幸いです。

私ども教職員も、1学期を振り返る話し合いや2学期の準備、研修講座への参加等により充実した日々を過ごしたいと考えております。1学期中に頂きましたご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

## ○夏休み中の生活について(お願い)

この夏休みも引き続き、健康を守る習慣として、「早寝早起き」、「運動」、「バランスよく食べる」ことを各担任より指導しました。また、ゲームに没頭しすぎると「ゲーム依存」になりやすいと言われています。長時間の動画視聴も注意が必要です。生活リズムが乱れないようにお家で約束をしたことを守ることも指導しました。良い習慣が継続できますよう引き続き、ご配慮ください。よろしくお願いいたします。

## ○9月のおおよその行事予定について

- |                              |                           |
|------------------------------|---------------------------|
| 1日(金) 始業式 11時20分下校           | 16日(土) いきいき長寿の会にて発表【参観なし】 |
| 4日(月) 3限授業 11時20分下校          | 集団登校, 11時20分下校            |
| 校内作品展【家庭科室・4～6日】             | 18日(月) 敬老の日               |
| 5日(火) 給食開始                   | 19日(火) 16日と授業日の振替により休み    |
| 7日(木) <u>学校保健会(たくさんの参加を)</u> | 22日(金) キッズウィーク            |
| 8日(金) 避難訓練                   | 23日(土) 秋分の日               |
| PTA役員会・委員会                   | 26日(火) スクールカウンセラー(午後)     |
| 9～10日 科学作品展 10時～17時          | 27日(水) 後期児童会役員選挙          |
| 11日(月) PTA挨拶運動 ⑥委員会          | 29日(金) 1～3年 13時40分下校      |
| 科学作品展 10時～14時                | 4～6年 運動会の準備               |
| 12日(火) スクールカウンセラー(午前)        | 30日(土) 運動会【雨天順延】          |

# ☆ 第1回 PTA家庭教育学級を開催しました！【7月19日】 「子育ての充実のために～子育ての中で実現したいこと～」



鈴鹿市教育委員会事務局教育支援課の橋本伸清先生に、「子育ての充実のため」という演題で、僅か1時間という限られた時間でしたが、子育ての中で実現したいことについて、詳しく教えて頂きました。橋本先生、今後の子育ての柱となるような大変貴重なお話をして頂きましてありがとうございました。また、夏休み前に具体的な話をお聞かせ頂けるよう、保護者の皆様が来校されやすい日を計画運営して頂いたPTA教養部の皆さん、ありがとうございました。  
※紙面ではニュアンスが十分に伝わらないですが、講演の一部を紹介します。疑問形のまま掲載してあるところは、どのような話であったのか考えながらお読みください。

- 結論から → 「子どもと過ごせる時間は？」
- 「子育ての期間 何を実現するか？」 → 幸せを実感すること（機嫌よく過ごす、根拠のない自信、こだわらない）
- 「メダカの実験の話」(自由に泳いでいる水槽に仕切りを入れたあとのメダカの動きは..) を子どもたちの生活にひきつけると..  
「どうせ無理」「わかってくれない」などの心のくもりに..それが進むと..  
「疲れた・イライラ」「つらく 苦しい 思い」「元気をなくす」「その子のよさが出せないまま 大人に」
- 子どもの育ちの深刻さの例  
心の不調の増加 NHK「クローズアップ現代」7月11日 最新研究「言葉のリスク」
- 「メダカの実験の話」2 本来の泳ぎを取り戻すには..2つ方法がある 新しいメダカを入れる 餌を入れる  
↓  
子どもにとって カ エネルギー になるもの

学校生活 = 活気【やりぬく力 協調性 など】
自己肯定感 = 自尊感情
保護者との愛着形成【安心感 心地よさ 信頼感】

} 心のエネルギー

- ① スキンシップ
  - ② 聴くこと
  - ③ 声かけ
- 食育 浴育 眠育**

学校生活の中では、トラブルや対立、行き違いなどの中で、謝る、折り合いをつける、次に向かうなどを学んでいくことができる子どもは、その日の出来事や思い、感情などを家の人に聴いてほしい

声 = 肥 → 聴く = 効く 話す = 放す 離す → 不安 イライラなどを手放す（手離す）ことになる

食育・食事を通して生きる力を育てる 浴育・マイナスの思いを洗い流す

**病気が夜つくれる**

眠育・スキンシップ、安心感 10(低)・9(高)・8(中学)の睡眠時間 その日のことに区切りをつけて寝る 心と体のダメージ回復

- 言葉かけの実際 .. 脳の働き「意識するとそれが目にとまる」「意識するとそれに関係した情報が集まる」

- ・「嫌なことはなかった？」 → 脳がマイナスなことを見つけることを習慣化してしまう
- ・「楽しかったことを教えてね」小さな幸せを聞き出す声かけ → 脳が喜びを見つける
- ・「あなたは..」という声掛け → 人格否定 レッテル貼り マイナスイメージ 自己嫌悪に
- ・うれしくない会話（否定 心配させること お金 など）を子どもに聞かせない

- 世代間境界があることが大切

- 「どうせ自分なんか..」という言葉が子どもから出たら 親がプラスの言葉を使っているかを見直すチャンス

- 土台として..保護者自身の自己肯定感が大切 お薦めの取組 子ども・家族・自分について いいこと日記 をノートに

## **親が自分自身にパワーを与えてこそ 子どもにパワーを与えることができる**

【講演会を終わって】 共感的に丁寧に「聴く」と、子どもは前向きになっていく。なんでもかんでも聞けばよいわけではなく、「こうしていきたい」という子どもの思いが良ければ応援し、わがままやズレがある時は、アドバイスがいる。「こういうことが大切」と言い聞かせることが世代間境界を明確にすることにつながる。

【感想より】・聴くことの大切さを改めて感じました。・とても参考になるお話で参加できてよかったです。・「親の言葉ほど影響力のあるものはない」というのは耳にしていましたが、どのように子どもに影響するのかまで聞けてよかったです。・子どもと上手に付き合うための参考になりました。 <※アンケートにご協力頂きありがとうございました。>